

生産性向上支援訓練実施事例

株式会社高山産業 様

事業所所在地：鹿児島県始良市蒲生町北 1923

事業内容：電子部品製造業

従業員数：395 名

コース名：129 製造分野における DX 推進

訓練実施時期：令和 7 年 2 月 14 日（金）

受講者数：16 名

訓練時間：6 時間

利用事業主の声

当社は、電子機器用に使用される電子部品の製造・検査を主体とした事業を行っています。

今回、訓練を利用した経緯・動機は、人材不足が課題となっている中、DX 推進を図ることによって、人手に頼った作業の削減やボトルネックの解消により、効率的な生産体制を構築し、その結果、企業価値の向上につながればと考えたからです。



訓練を利用した感想は、DX 導入に至るまでを実例をあげて教えてもらい、受講者も理解しやすく、当社の DX 導入にも参考となるものでした。

また、DX 導入におけるシステム化が急がれる状況ではありますが、その前に、製造現場における業務を可能な限りデジタル化していくことが重要であることを認識しましたので、今後は、これらに注力していきたいと考えております。

受講者の声

DX という言葉を聞くと、新しいシステムや AI の導入を想像していましたが、それだけではなく、ビジネスプロセス全体を見直し、企業文化や働き方の変革が本質だと気づきました。

訓練では、設備の改善活動などに役立つ内容もあり、例えばフットスイッチを利用し、データ収集を実際に行ってみたいと思いました。また、4M情報の見える化の実例を学び、当社で導入できれば、稼働状況や納期対応もスムーズに処理できるのではないかと思います。

具体的な成果

売上については、セミナー後半年間で前年比+15%アップ、売上計画に対しては、達成率 110%となっています。一人当たりの売上計画に対しても、達成率 112%となっています。

訓練利用による成果や影響について、製造現場で発生する様々な事象をデータ化していく機運が高まり、システム化への足掛かりとなってきています。